

# ■委員会開催

- 第1回 2022年8月30日 17:00～18:00(オンライン)
- 第2回 2022年9月29日 17:00～18:00(オンライン)
- 第3回 2022年11月14日 17:30～18:30(オンライン)
- 第4回 2023年1月17日 17:30～18:30(オンライン)

# ■若手研究者・国際学会参加支援助成金の審査

- ・10/31締切までに、3件の応募があり、以下を決定した。
  - 最大5万：大倉 沙江(筑波大学人文社会系助教)
  - 最大10万：Rashed Nedal Rashed Al Jayousi(東北大学大学院経済経営研究科博士後期課程)
  - 最大10万：峯村 遥香(東北大学大学院経済経営研究科博士前期課程)
- ・今後、参加報告が学会のニュースサイトに掲載される予定。
- ・2022年度計上の25万円は使い切る形となるため、本年度第2回目の募集はなしの方針。

# ■セミナー実施

- 第1回「寄付・ファンドレイジング研究の最前線－Emerging Scholarsの研究に学ぶ」
  - 2022年11月6日(日)13:00～16:00、東北大学にてハイブリッド開催
  - 申込70名(実際の対面参加14名、オンライン参加26名)

## 日本NPO学会セミナー

### 寄付・ファンドレイジング研究の最前線 －Emerging Scholarsの研究に学ぶ

2022年11月6日(日) 13:00～16:00

16:00～17:00 名刺交換会(対面・希望者のみ)

対面(先着65名) および 簡易オンライン配信

東北大学大学院情報科学研究科 大講義室  
仙台市営地下鉄東西線 青葉山駅下車 徒歩1分

学会員・非会員ともに無料

#### 非営利組織のデジタル ファンドレイジング戦略 に関する研究

渡邊 文隆さん

信州大学 社会基盤研究所 特任講師  
京都大学 経営管理大学院  
博士後期課程

#### 日本社会における 大学と寄付意識

福井 文威さん

鎌倉女子大学 学術研究所 准教授

討論者 坂本 治也さん(関西大学 教授)  
モデレーター 岡田 彩さん  
(東北大学 准教授)

申込 <https://forms.gle/o2TuMdjx5V8N6WWTA>

申込時に、対面 or オンライン参加を選択してください。  
対面参加の方は、感染新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)の  
インストールをはじめ、感染対策にご協力ください。

お問い合わせ 日本NPO学会学術研究委員会 岡田 ([aya.okada.e3@tohoku.ac.jp](mailto:aya.okada.e3@tohoku.ac.jp))

## 第2回 首都・東京の都市政策とソーシャル・キャピタル(2023年3月8日(水) 10:30~12:00)



### 首都・東京の都市政策とソーシャル・キャピタル

#### 日時・会場

2023年3月8日(水) 10:30~12:00  
・リアル: 地球環境パートナーシッププラザ(東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル1F)  
・オンライン: Zoom

#### 定員

30名(リアル)・制なし(オンライン)

#### 参加費

・日本NPO学会 会員: 無料  
・日本NPO学会 非会員: 500円  
※参加費はPeatixから事前にお支払いください。

#### 申込方法

Peatixからお申し込みください。

<https://janporaseminar0308.peatix.com/>

#### 講師

戸川 和成さん(千葉商科大学政策情報学部)  
1993年、東京都墨田区生まれ。日本大学法学部政治経済学科卒。筑波大学大学院人文社会科学部研究科(国際日本研究専攻)博士課程後期修了 博士(社会科学)。

本セミナーでは、2022年11月に出版された『首都・東京の都市政策とソーシャル・キャピタルー地域振興と市民活動政策のQOLを高め、23区格差を改善するガバナンスの実現ー』(晃洋書房)について講演していただきます。

#### モデレーター

小嶋 新(アリゾナ州立大学、日本NPO学会・学術研究委員会)

#### お問い合わせ

日本NPO学会 学術研究委員会 岡田彩(東北大学) メールアドレス aya.okada.e3@tohoku.ac.jp

## 第3回 子どものセーフガーディング(2023年3月11日(土) 11:00~13:00)

JANPORA セミナーウィーク



子どものセーフガーディング

**NPO・NGOの受益者を被害や犯罪から  
守るための実践的な取り組み**

NPOやNGOの受益者に対して、本来はその存在を守るべき立場にある支援者が、加害に関与したという事件がいくつかり沙汰されていました。そのような事態を受け、国際開発ではPSEAHが論じられ、子どもの分野では、英国の無犯罪証明書(DBS)を参考に、こども家庭庁が導入の議論を進めています。しかし、制度や法律が導入されたとしても、スタッフやボランティアによる受益者への加害を完全に防ぐことはできません。つまり、それぞれのNPO・NGOが自らの受益者を保護するために、自らできることをなす必要があります。

**2023年3月11日(土) 11:00~13:00**  
**オンライン(ZOOM)**

- Donnasue Martinさん(Boys & Girls Clubs the Valley ボランティアマネージャー/アリゾナ州立大学)
- Heather Budzienさん(Boys & Girls Clubs the Valley プログラム・支部統括責任者)
- 金谷 直子さん(公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン チャイルド・セーフガーディング・スペシャリスト)
- モデレーター 岡田 彩(東北大学)
- 通訳 小嶋 新(アリゾナ州立大学)・松島 みどり(筑波大学)

**言語**  
講演および質疑応答は日英両言語の要訳で行われます。

**申込方法**  
Peatixからお申し込みください。  
<https://janporaseminar0311.peatix.com/>

**参加費**  
無料(日本NPO学会会員)、500円(非会員)  
参加費はPeatixから事前にお支払いください。

**お問い合わせ**  
日本NPO学会 学術研究委員会  
岡田彩(東北大学)  
aya.okada.e3@tohoku.ac.jp

今後の企画: 若手論文投稿支援(5月予定)、社会運動(6月予定)、寄付法制